



介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（平成30年度）に対する自己評価結果

都道府県名： 福島県

ア 取組の支援についての自己評価結果	
項目名	自立支援型地域ケア会議の取組に係る市町村支援
目標を設定するに至った現状と課題	保険者である市町村が地域の課題を分析し、さらなる高齢者の自立支援の重度化防止を進めるために、これまでの地域ケア個別会議・推進会議に加えて、自立支援型地域ケア会議の立ち上げに係る市町村の支援をする必要がある。
取組の実施内容、実績	<p>自立支援型地域ケア会議について、先進地の取組を紹介し、公開地域ケア会議を行うことで、市町村・専門職団体等に対する自立支援型地域ケア会議の目的・流れ・専門職の役割等の理解促進を図った。</p> <p>開催日 平成30年8月2日 13:30～16:00</p> <p>参加者 市町村高齢福祉課職員、地域包括支援センター職員、保健福祉事務所職員、地域ケア会議に関わる専門職（薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士等）</p> <p>内容 他県からの講師を招いた自立支援型地域ケア会議に係る実践報告 各職能団体の有識者をアドバイザーとした公開地域ケア会議の開催による自立支援型地域ケア会議の理解促進</p> <p>また、専門職に係る県内各職能団体と連携し、自立支援型地域ケア会議を開催する市町村に対して、専門職の派遣を行った。</p>
自己評価	平成30年度は、13市町村において県の支援を受けて自立支援型地域ケア会議を開催した。 また、専門職の派遣は延べ226回行った。

イ 管内保険者の自己評価結果の概要
管内市町村の自立支援型地域ケア会議への取組に係る自己評価（合計19市町村）の結果（◎・○・△・×から選択）は、◎11、○6、△1、×1であり、殆どの市町村で高評価をしていた。 評価結果において「県の支援を受けたことで円滑に実施できた。」との回答も複数見られた。

ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）
管内市町村の自己評価結果から県の取組に一定の効果を得られたことが認められる。 今年度初めて会議を開催する市町村もあり、自立支援型地域ケア会議をさらに広めるため、引き続き事業を展開していく必要がある。